

平成 28 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
「認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査研究事業」編

都道府県・指定都市の 認知症疾患医療センター 事業評価に向けて

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

もくじ

はじめに	1
1. 都道府県・指定都市の責務，事業評価の意義.....	2
2. 事業の質の評価の方法論	3
3. 都道府県認知症疾患医療連携協議会のありかた	4
4. 認知症疾患医療センターの類型，要件，機能	6
～認知症疾患医療センター運営事業（平成29年度～）～	
5. 認知症疾患医療センターの要件と機能評価のポイント	8
～認知症疾患医療センター運営事業協議書（兼）実績報告書を参考に～	
6. 外部機能評価の試み	
6-1 かかりつけ医への調査票の例	14
6-2 地域包括支援センターへの調査票の例	16
7. 認知症疾患医療センターの質の管理に関する取り組み	18
～さまざま機能評価の例～	
岩手県	19
東京都	20
広島県	21
熊本県	22

はじめに

認知症疾患医療センターは、それぞれの地域において、認知症の専門医療を提供し、地域連携体制の推進をはかる実践的な専門医療機関です。具体的には、「認知症疾患に対する鑑別診断と初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者等への研修を行い、地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ること」とされています。

しかし、それぞれの圏域の面積、人口規模、現存する社会資源等によって、認知症疾患医療センターに求められる役割は異なる可能性があります。そこで、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）では、「認知症疾患医療センターについては、都道府県ごとに地域の中で担うべき機能を明らかにした上で、認知症疾患医療センター以外の鑑別診断を行うことができる医療機関と併せて、計画的に整備していく」とされました。

こうしたことから、都道府県・指定都市は、地域の実情に応じて、現在の事業の質を評価・分析し、課題を抽出し、事業の質を改善・向上させるための取り組みを進めていく必要があります。また、そのためには、書面による実績報告とともに、認知症疾患医療センター運営事業実施要綱で定められている都道府県認知症疾患医療連携協議会を開催し、関係者が一堂に会し、情報を共有し、意見交換を行い、これからの認知症疾患医療センターの役割、配置、連携のあり方等について討議していく必要があります。しかし、平成27年度の老健事業において実施した調査では、都道府県認知症疾患医療連携協議会を開催している都道府県は60%にとどまることが明らかにされています。

本冊子は、都道府県・指定都市が認知症疾患医療センター運営事業の質の評価を行うためのポイントをまとめました。地域の実情にあわせた認知症疾患医療センターの事業評価の目安としてお役立ていただければ幸いです。

2017年 3月31日

平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査委員会

委員長 栗田 主一

● 都道府県・指定都市の責務 ●

認知症疾患医療センター運営事業の実施主体は都道府県・指定都市であり、認知症疾患医療センターは認知症の鑑別診断に係る検査等の総合的評価が可能な医療機関に設置することとされています。また、都道府県には以下の責務が定められています。

(1)連携体制の構築

都道府県は、指定都市がある場合は指定都市との連携体制を構築した上で、都道府県内の認知症疾患医療センターについて、都道府県医師会・指定都市医師会・郡市医師会などの保健医療関係者、地域包括支援センターなど介護保険関係者、認知症医療に関する有識者等から組織された「**都道府県認知症疾患医療連携協議会**」を設置し、各認知症疾患医療センターにおける地域連携体制の支援を行うことと規定されています。ただし、既に同様の機能を有する会議等を設置、運営している場合は、その会議等を活用して差し支えないとされています。

(2)事業評価の実施

都道府県および指定都市は、自ら指定した認知症疾患医療センターに対し、その**事業内容**について、以下の点に着目し、事業評価を行うこととされています。

a 専門的医療機関としての機能

- 認知症原因疾患別の鑑別診断の実施
- 治療方針の選定に関すること
- 記録・データ管理等に関すること
- 周辺症状と身体合併症の急性期対応に関すること
- 専門医療相談の実施

b 地域連携拠点としての機能

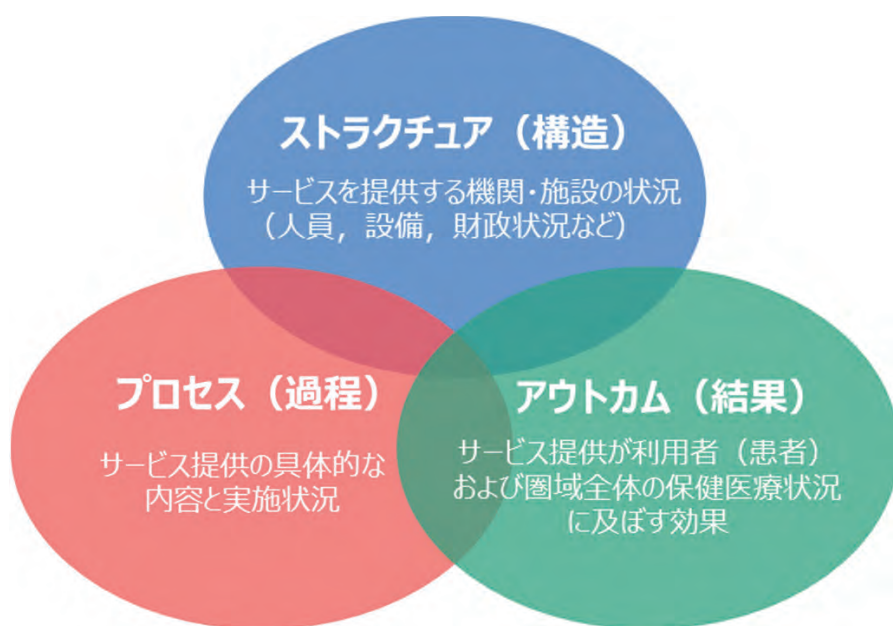
- 認知症疾患医療連携協議会の運営状況
- 研修会の開催状況

● 事業評価の意義 ●

都道府県が行う認知症疾患医療センターの事業評価は、現在の認知症疾患医療センターの機能を評価するとともに、課題を分析し、解決策を案出することによって、将来に向けて、認知症疾患医療センターがより効果的に機能し、認知症とともに暮らせる社会を実現できるようにしていくためにも重要です。

● 事業の質の評価の方法論 ●

一般に、保健医療サービスの事業の質は、ストラクチャ、プロセス、アウトカムの3つの観点から評価されます。ストラクチャとはサービスを提供する機関・施設の状況（人員、設備、財政状況など）、プロセスとはサービス提供の具体的な内容と実施状況、アウトカムとはサービス提供が利用者（患者）および圏域全体の保健医療状況に及ぼす効果を意味しています。認知症疾患医療センターの事業評価を行うにあたっては、実施要綱に定められる施設の要件がストラクチャ、実施要綱に定められる事業内容の実施状況がプロセス、圏域の機能体制の構築状況や個々の利用者の健康状況や生活状況がアウトカムに相当します。プロセスの評価には専門的技術の質としての技術、接遇の質としての有形性、信頼性、迅速性、確実性、共感性などの要素も含まれます。臨床指標として数値目標を定め、その改善に注目することも重要です。



この冊子では、ストラクチャとプロセスを評価するための方法の一つとして、認知症疾患医療センター運営事業協議書（兼）実績報告書について解説します。また、機能の外部評価の一例として、かかりつけ医や地域包括支援センターを対象とするアンケート調査の方法を紹介します。なお、アウトカム評価については、利用者の満足度を評価したり、利用者の臨床症状や生活状況を縦断的に評価する方法、圏域全体の認知症支援の連携状況を縦断的に評価する方法などが考えられますが、その方法は多様であることから、本冊子ではストラクチャ評価とプロセス評価に限らせていただきました。

参照：

平成14年度情報経済基盤整備（保健医療福祉分野の標準化に向けたシステムの設計・実証研究）

医療の質保証のためのISO9001QMSの調査報告書

Avedis Donabedian. Exploration in Quality Assessment and Monitoring Volume I, Definition of Quality and Approaches to Its Assessment. Ann Arbor, Michigan: Health Administration Press; 1980.

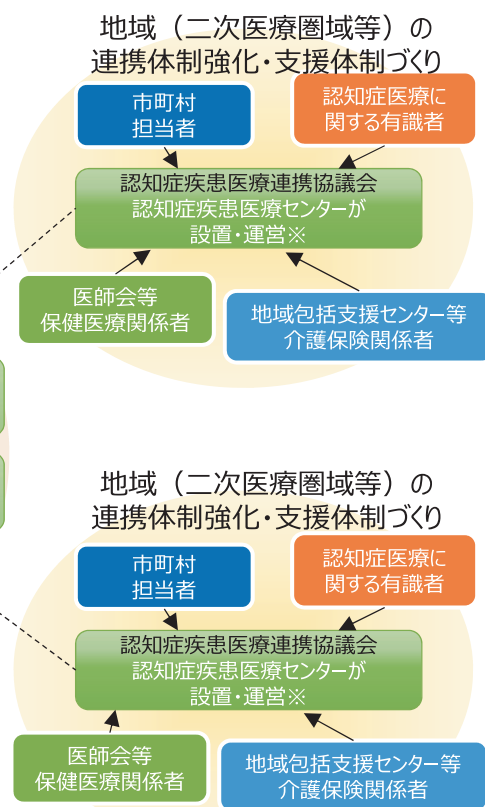
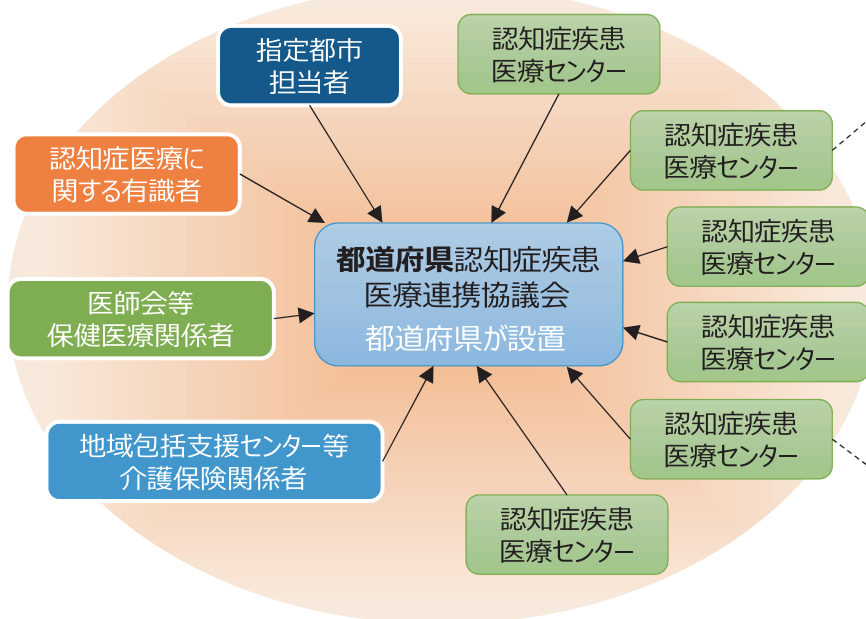
●PDCAサイクルを用いた事業の質の管理●



事業評価の結果を事業の質の向上にいかしていくために、PDCAサイクルの考え方を活用します。PDCAとは、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の頭文字です。常に問題点を改善しながら業務を円滑に進めることができ、サイクルを進めていくことで将来大きな成果を得るための考え方です。すなわち、計画（P）に基づいて、現在実行している（D）、事業を評価し（C）、その結果から課題を発見し、要因を分析して、事業を改善し（A）、それに基づいて新たな計画をたてる（P）のがPDCAサイクルです。

このようなサイクルを回転させる上で大切なことは、認知症疾患医療センター運営事業の目的と実施要綱をよく理解し、事業を評価するための適切な様式を作成し、結果を共有し、課題とその要因を分析し、改善策を検討するための関係者の会議体（**都道府県認知症疾患医療連携協議会**）を設置する必要があります。都道府県認知症疾患医療連携協議会は、それぞれの認知症疾患医療センターが開催する地域の連携体制強化および支援体制づくりのための認知症疾患医療連携協議会とは別に、都道府県全体の連携体制づくりをも目的として設置します。

都道府県内の地域連携体制の支援



● 全国 の よう す ●

平成27年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「認知症疾患医療センターの実態に関する調査研究事業」において，都道府県を対象に都道府県認知症疾患医療連携協議会の実施状況についてアンケート調査を行いました。

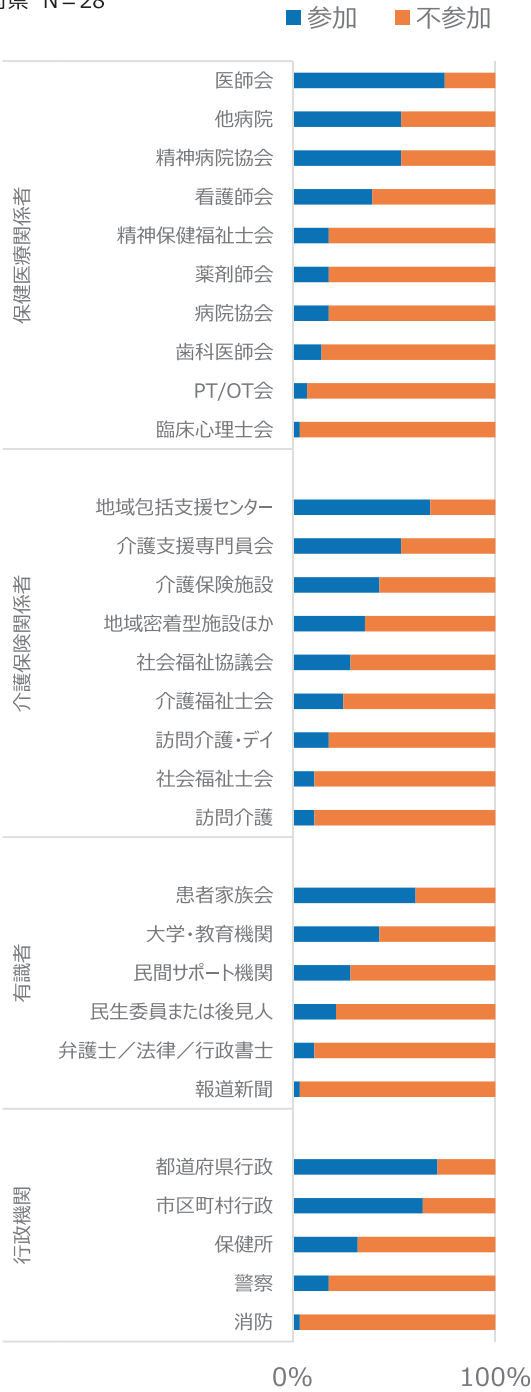
その結果，全国の都道府県の60%が認知症疾患医療連携協議会を設置・開催しており，そのうち指定都市のある都道府県では，60%が都道府県と指定都市の連携体制を構築していると回答されました。本事業では指定都市も実施主体であることから，指定都市がある都道府県は指定都市との連携体制を構築し，地域連携体制の支援を行う必要があります。

都道府県認知症疾患医療連携協議会に出席する職種は多岐にわたり，保健医療関係者，介護保険関係者，有識者，行政機関等であることがわかりました（右図）。協議会で検討される内容は都道府県内の各認知症疾患医療センターの活動状況報告のほか，地域課題を共有し都道府県の事業計画の行政説明や地域連携体制構築に向けた意見交換，多職種連携のためのグループワークや事例検討会等と報告されました。また具体的な退院支援や地域連携クリティカルパスの導入，家族を支援する体制の構築，行方不明高齢者対応や若年性認知症の今後の支援体制と事業展開についてディスカッションされたという報告もありました。

地域の様々な職種が一同に会し，地域課題を共有する会議を行うことで，認知症疾患医療センターの事業評価のみならず連携の推進，都道府県施策への反映，地域医療計画整備や災害時協定等にまで効果が得られたと回答されました。

都道府県認知症疾患医療連携協議会参加職種

協議会ありかつ資料のあった
都道府県 N = 28



平成27年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
認知症疾患医療センターの実態に関する調査研究事業報告書より

● 実施要綱に定められる 類型別要件と事業内容 ●

認知症疾患医療センターには基幹型，地域型，連携型の3類型があります。基幹型には，専門医療機関としての要件，身体合併症に対する救急医療機関としての要件，地域連携推進機関としての要件，地域型には専門医療機関としての要件，地域連携推進機関としての要件，連携型には専門医療機関としての要件，地域連携拠点機関としての要件が求められています。また，いずれの認知症疾患医療センターにおいても，専門的医療機能と地域連携拠点機能という2つの機能が事業内容として求められています。

認知症疾患医療セ		
		基幹型
設置医療機関		病院（総合病院）
設置数（H28.12月末現在）		15か所
診療報酬		認知症専門診断管理料1（700点） 認知症専門診断管理料2（300点）
基本的活動圏域		都道府県圏域
専門的医療機能	鑑別診断等	認知症の鑑別診断及び専門医療相談
	人員配置	・専門医（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）
	検査体制 （※他の医療機関との 連携確保対応で可）	・CT ・MRI ・SPECT（※）
	BPSD・身体合併症対応	空床を確保
	医療相談室の設置	必須
地域連携機能		・地域への認知症に関する情報発信，普及啓発，地域住 ・認知症サポート医，かかりつけ医や地域包括支援センター ・地域での連携体制強化のための「認知症疾患医療連携

認知症疾患医療センター運営事業平成29年度改定の要点

認知症疾患に関する鑑別診断の実施など、地域での認知症医療提供体制の拠点としての活動を行う事業（H20年～） → 平成29年度より、さらなる整備促進のため、診療所型の設置要件に病院を追加し「連携型」を新設

- 実施主体：都道府県・指定都市（鑑別診断に係る検査等の総合的評価が可能な医療機関に設置）
- 設置数：全国に375か所（平成28年12月末現在 都道府県知事又は指定都市市長が指定）

センターの類型と要件

地域型	連携型
病院（単科精神科病院等）	診療所・ <u>病院</u>
335か所	25か所
	認知症専門診断管理料 1（500点） ※診療所は算定可能
二次医療圏域	
・専門医（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）	・専門医（1名以上） ・看護師，保健師，精神保健福祉士， 臨床心理技術者等（1名以上）
・CT ・MRI（※） ・SPECT（※）	・CT（※） ・MRI（※） ・SPECT（※）
急性期入院治療を行える医療機関との連携体制を確保	
	—
民からの相談対応 等に対する研修の実施 協議会」の組織化 等	

認知症疾患医療センター運営事業 協議書（兼）実績報告書（医療機関別）

様式3

※行・列の挿入は絶対に行わないでください。

【医療機関基本情報】

医療機関名		29年度新規		29年度更新		No																																																																																																																																																																																								
設置法人名		都道府県・指定都市名		番号																																																																																																																																																																																										
担当部署名																																																																																																																																																																																														
電話番号				担当者																																																																																																																																																																																										
<table border="1"> <tr> <td>医療機関名</td> <td colspan="4"></td> <td>種類</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>設置法人名</td> <td colspan="4"></td> <td>設置主体(注1)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>指定年月日</td> <td>H</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>次回更新予定日</td> <td>H</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>更新年月日①</td> <td>H</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>更新年月日②</td> <td>H</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>郵便番号</td> <td colspan="2"></td> <td>住所</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>二次医療圏域名</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>同圏域内配置センター名</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>医療機関種別(注2)</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>一般病床</td> <td></td> <td>精神病床</td> <td></td> <td>その他病床</td> <td>(うち療養病床)</td> <td>計 0</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">診療科 (複数回答可)</td> <td>1. 内科</td> <td></td> <td>2. 呼吸器内科</td> <td></td> <td>3. 循環器内科</td> <td></td> <td>4. 消化器内科</td> </tr> <tr> <td>5. 血液内科</td> <td></td> <td>6. 糖尿病内科</td> <td></td> <td colspan="3">7. 代謝または内分泌内科</td> </tr> <tr> <td>8. 腎臓内科</td> <td></td> <td>9. 神経内科</td> <td></td> <td>10. 心療内科</td> <td></td> <td>11. 感染症内科</td> </tr> <tr> <td>12. 老年内科</td> <td></td> <td>13. 外科</td> <td></td> <td>14. 呼吸器外科</td> <td></td> <td>15. 心臓血管外科</td> </tr> <tr> <td>16. 消化器外科</td> <td></td> <td>17. 小児外科</td> <td></td> <td>18. 肛門外科</td> <td></td> <td>19. 整形外科</td> </tr> <tr> <td>20. 脳神経外科</td> <td></td> <td>21. 形成外科</td> <td></td> <td>22. 胸部外科</td> <td></td> <td>23. 腹部外科</td> </tr> <tr> <td>24. 精神科</td> <td></td> <td>25. アレルギー科</td> <td></td> <td>26. リウマチ科</td> <td></td> <td>27. 小児科</td> </tr> <tr> <td>28. 皮膚科</td> <td></td> <td>29. 泌尿器科</td> <td></td> <td>30. 産婦人科</td> <td></td> <td>31. 眼科</td> </tr> <tr> <td>32. 耳鼻咽喉科</td> <td></td> <td>33. リハビリテーション科</td> <td></td> <td>34. 放射線科</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35. 救急科</td> <td></td> <td>36. その他</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>連携病院名①</td> <td colspan="4"></td> <td>連携内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>連携病院名②</td> <td colspan="4"></td> <td>連携内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>連携病院名③</td> <td colspan="4"></td> <td>連携内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>連携病院名④</td> <td colspan="4"></td> <td>連携内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>連携病院名⑤</td> <td colspan="4"></td> <td>連携内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>								医療機関名					種類			設置法人名					設置主体(注1)			指定年月日	H	年	月	日	次回更新予定日	H	年	更新年月日①	H	年	月	日	更新年月日②	H	年	郵便番号			住所					二次医療圏域名								同圏域内配置センター名								医療機関種別(注2)								病床数	一般病床		精神病床		その他病床	(うち療養病床)	計 0	診療科 (複数回答可)	1. 内科		2. 呼吸器内科		3. 循環器内科		4. 消化器内科	5. 血液内科		6. 糖尿病内科		7. 代謝または内分泌内科			8. 腎臓内科		9. 神経内科		10. 心療内科		11. 感染症内科	12. 老年内科		13. 外科		14. 呼吸器外科		15. 心臓血管外科	16. 消化器外科		17. 小児外科		18. 肛門外科		19. 整形外科	20. 脳神経外科		21. 形成外科		22. 胸部外科		23. 腹部外科	24. 精神科		25. アレルギー科		26. リウマチ科		27. 小児科	28. 皮膚科		29. 泌尿器科		30. 産婦人科		31. 眼科	32. 耳鼻咽喉科		33. リハビリテーション科		34. 放射線科			35. 救急科		36. その他					連携病院名①					連携内容			連携病院名②					連携内容			連携病院名③					連携内容			連携病院名④					連携内容			連携病院名⑤					連携内容		
医療機関名					種類																																																																																																																																																																																									
設置法人名					設置主体(注1)																																																																																																																																																																																									
指定年月日	H	年	月	日	次回更新予定日	H	年																																																																																																																																																																																							
更新年月日①	H	年	月	日	更新年月日②	H	年																																																																																																																																																																																							
郵便番号			住所																																																																																																																																																																																											
二次医療圏域名																																																																																																																																																																																														
同圏域内配置センター名																																																																																																																																																																																														
医療機関種別(注2)																																																																																																																																																																																														
病床数	一般病床		精神病床		その他病床	(うち療養病床)	計 0																																																																																																																																																																																							
診療科 (複数回答可)	1. 内科		2. 呼吸器内科		3. 循環器内科		4. 消化器内科																																																																																																																																																																																							
	5. 血液内科		6. 糖尿病内科		7. 代謝または内分泌内科																																																																																																																																																																																									
	8. 腎臓内科		9. 神経内科		10. 心療内科		11. 感染症内科																																																																																																																																																																																							
	12. 老年内科		13. 外科		14. 呼吸器外科		15. 心臓血管外科																																																																																																																																																																																							
	16. 消化器外科		17. 小児外科		18. 肛門外科		19. 整形外科																																																																																																																																																																																							
	20. 脳神経外科		21. 形成外科		22. 胸部外科		23. 腹部外科																																																																																																																																																																																							
	24. 精神科		25. アレルギー科		26. リウマチ科		27. 小児科																																																																																																																																																																																							
	28. 皮膚科		29. 泌尿器科		30. 産婦人科		31. 眼科																																																																																																																																																																																							
	32. 耳鼻咽喉科		33. リハビリテーション科		34. 放射線科																																																																																																																																																																																									
	35. 救急科		36. その他																																																																																																																																																																																											
連携病院名①					連携内容																																																																																																																																																																																									
連携病院名②					連携内容																																																																																																																																																																																									
連携病院名③					連携内容																																																																																																																																																																																									
連携病院名④					連携内容																																																																																																																																																																																									
連携病院名⑤					連携内容																																																																																																																																																																																									

※赤字（注1～注2）は認知症疾患医療センター運営事業協議書（兼）実績報告書（医療機関別）のExcelファイル内「記入上の留意事項（項目解説）」をご参照ください。

事業全体のストラクチャを評価するための一例

◆「精神疾患の医療体制の構築に係る指針」（平成24年10月9日厚生労働省通知）では、目標として「認知症疾患医療センターを整備するとともに、認知症の鑑別診断を行える医療機関を含めて、少なくとも二次医療圏に1カ所以上、人口の多い二次医療圏では概ね65歳以上人口6万人に1カ所程度（特に65歳以上人口が多い二次医療圏では、認知症疾患医療センターを複数カ所が望ましい）を確保すること」とされています。

⇒ 二次医療圏に1カ所以上設置されているか、人口の多い二次医療圏では概ね65歳以上人口6万人に1カ所程度されているかも事業全体のストラクチャを評価するための一つの例となります。

ストラクチャ

【医療機関基本情報】の項目はストラクチャを評価する一例となります。

- ・ 医療機関種別
- ・ 病床数
- ・ 診療科
- ・ 連携病院の有無と連携内容 など

◆例えば、認知症疾患医療センターの要件として、病床や検査体制は近隣の他院との連携体制の構築が必要であることから、連携病院の有無や連携内容がストラクチャの一つとなります。具体的には、基幹型の場合は「一般病床と精神病床の両方を有しているかどうか」、地域型は「両方の病床を有していない場合、身体合併症やB P S Dへの対応が可能等、他の病院と連携体制がとれているかどうか」、連携型は「病床が無い場合でも身体合併症やB P S Dへの対応が可能な病院と連携体制がとれているかどうか」がストラクチャの評価の一つとなります。その際、連携病院との位置関係が、交通手段も含めて実際の受診に支障がないかという点も考慮することが必要です。

【専門的医療機関としての要件と機能】													
稼働日数	週	日	年間	日									
医師配置状況	日本老年精神医学会若しくは認知症学会の定める専門医										名		
	上記以外で、認知症疾患の鑑別診断等の専門医療を主たる業務とした5年以上の臨床経験を有する医師										名		
医師以外の 人員配置	精神保健福祉士	専従		名	兼務		名						
	保健師	専従		名	兼務		名						
	臨床心理技術者	専従		名	兼務		名						
	連携推進補助員	専従		名	兼務		名						
	その他	(職種)			専従		名	兼務		名			
		(職種)			専従		名	兼務		名			
検査体制	血液検査	自施設		連携先		尿一般検査	自施設		連携先				
	心電図検査	自施設		連携先		神経心理検査	自施設		連携先				
	CT検査	自施設		連携先		MRI検査	自施設		連携先				
	SPECT検査	自施設		連携先									
保有機器	CT		台	MRI		台	SPECT		台				
相談件数 (注3)	電話		件	面接		件	訪問		件				
	その他	(方法)				件	(方法)			件			
鑑別診断件数(実数) * 過去1年間の新規 (注4,5)										全数		内、65歳未満	
1. 正常または健常										件		件	
2. 軽度認知障害(MCI)										件		件	
3. アルツハイマー型認知症(G30,F00)										件		件	
4. 血管性認知症(F01)										件		件	
5. レビー小体型認知症(G31,F02)										件		件	
6. 前頭側頭型認知症(行動障害型・言語障害型を含む G31,F02)										件		件	
7. 外傷性脳損傷による認知症(S06.2,F02)										件		件	
8. 物質・医薬品誘発性による認知症(アルコール関連障害による認知症を含む)										件		件	
9. HIV感染による認知症(B20,F02)										件		件	
10. プリオン病による認知症(A81,F02)										件		件	
11. パーキンソン病による認知症(G20,F02)										件		件	
12. ハンチントン病による認知症(G10,F02)										件		件	
13. 正常圧水頭症(G91)										件		件	
14. 他の医学的疾患による認知症(F02)										件		件	
15. 複数の病因による認知症(F02)										件		件	
16. 詳細不明の認知症(F03)(上記3～15に該当しないもの)										件		件	
17. 上記2～16以外の症状性を含む器質性精神障害										件		件	
18. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(F2)										件		件	
19. 気分(感情)障害(F3)										件		件	
20. てんかん(G47)										件		件	
21. 神経発達障害(知的発達障害を含む)(F7-F9)										件		件	
22. 上記のいずれにも含まれない精神疾患										件		件	
23. 上記のいずれにも含まれない神経疾患										件		件	
24. 上記のいずれにも含まれない疾患										件		件	
25. 診断保留										件		件	
合計										0	件	0	件
紹介・逆紹介(注6)	紹介		件	逆紹介		件							
初診までの待機日数(注7)													
診療報酬	認知症専門診断管理料1	算定の有無		算定件数(年間)		件							
	認知症専門診断管理料2	算定の有無		算定件数(年間)		件							
	認知症ケア加算1	算定の有無		算定件数(年間)		件							
	認知症ケア加算2	算定の有無		算定件数(年間)		件							

※赤字(注3～注7)は認知症疾患医療センター運営事業協議書(兼)実績報告書(医療機関別)のExcelファイル内「記入上の留意事項(項目解説)」をご参照ください。

ストラクチャ

【専門的医療機関としての要件と機能】の以下の項目もストラクチャを評価する一例です。

- ・稼働日数
- ・医師・人員配置状況
- ・検査体制・検査機器 など

◆例えば、医師・人員配置状況について、基幹型と地域型の場合は、実施要綱の要件を満たす専任の医師が1名以上配置されているかどうか、専任の臨床心理技術者が1名以上配置されているかどうか、医療相談室に精神保健福祉士又は保健師等が2名以上配置されており、そのうち1名が常勤専従の業務を担当しているかなどが、ストラクチャの評価の一つとなります。

◆検査体制は基幹型の場合、鑑別診断に係る検査体制（CT、MRI、SPECTなど）が整備されているか、地域型の場合、SPECTをセンターで所持していなくても、他の医療機関との連携によりSPECTを活用できる体制が整備されているかどうか等がストラクチャの評価の一つとなります。

プロセス

【専門的医療機関としての要件と機能】の以下の項目については、プロセスを評価する一例です。

- ・相談件数
- ・鑑別診断件数
- ・紹介件数および逆紹介件数
- ・認知症専門診断管理料、認知症ケア加算の算定状況 など

◆専門医療相談が実施できる医療相談室等が設置されているかどうか、他院専門医療施設との調整、地域包括支援センターとの連絡調整、専門医療に関わる情報提供、退院時の調整など個々の患者の専門医療相談を行う機能をもつこと、実際の対応状況がプロセス評価の項目として重要です。

◆認知症疾患医療センターにおいて新規に得られる鑑別診断の件数は、個々の認知症疾患医療センターの受診患者層や地域の実態が確認できる情報ですので、センターのプロセス評価でもあり、地域全体の運営事業のプロセス評価の一つにもなります。

【身体合併症に対する救急医療機関としての要件と機能】

指定状況	1 救急医療機関の指定 (注8)		2 高度救命救急センターまたは救命救急センターの指定	
------	------------------	--	----------------------------	--

* 以下は救急医療機関の指定を受けていない医療機関についても記入

身体合併症のある認知症患者に対する救急医療の支援（相談、入院受け入れの調整、他院の紹介など）の実施	
リエゾンチーム等による一般病床に入院する認知症患者への精神的ケースワークの実施 (注9)	
認知症疾患医療センターとして、院内における全診療科を対象とした認知症に関する研修会の実施 (注10)	
休日、夜間における身体合併症や重篤な行動・心理症状を有する救急・急性期患者に対応するための、空床の確保	
確保している空床数 (注11)	(一般病床) 床 (精神病床) 床 (その他) 床

【地域連携推進機関としての要件と機能】

認知症疾患医療連携協議会の開催 (注12)	開催の形態		開催回数	年間	回
研修会の開催 (注13)	医療従事者対象	開催の有無	開催回数	年間	回
	(うちかかりつけ医対象)	開催の有無	開催回数	年間	回
	地域包括支援センター職員等対象	開催の有無	開催回数	年間	回
	家族・地域住民等対象	開催の有無	開催回数	年間	回
地域への認知症医療に関する情報発信の取組の有無 (注14)					
地域への認知症に関する理解を促す普及啓発の取組の有無 (注15)					
他の主体の実施する研修会への協力・講師派遣の有無 (注16)			実施回数	年間	回
初期集中支援チームへの関与 (注17)	センター内にチームを設置（受託）		チーム員として参加		後方支援

【医療サービス等提供状況】

	通常業務として実施	状況に応じて実施	未実施
1. 介護保険主治医意見書への記載			
2. 合併する身体疾患に対する通院医療			
3. 合併する身体疾患に対する入院医療			
4. 合併する身体疾患に対する救急医療（時間外入院を含む）			
5. 合併する身体疾患に対する往診または訪問診療			
6. 随伴する精神症状・行動障害に対する通院医療			
7. 随伴する精神症状・行動障害に対する入院医療			
8. 随伴する精神症状・行動障害に対する救急医療（時間外入院を含む）			
9. 随伴する精神症状・行動障害に対する往診または訪問診療			
10. せん妄に対する医療の提供			
11. 介護保険施設・事業所への往診または訪問診療			
12. 行政機関への助言・連携			
13. 地域包括支援センター職員への助言・連携			
14. 介護支援専門員への助言・連携			
15. 介護保険施設・事業所職員への助言・連携			

【記入上の留意事項】

- 記載にあたっては、別紙「協議書（兼）報告書記入上の留意事項」を参照してください。
- 黄色セルへの入力、プルダウンより選択して行ってください。
- 継続・更新予定センターは28年度実績を、新規指定予定センターは29年度実施見込みを記入してください。
- 連携病院記入欄が足りない場合、別途一覧（任意様式）を添付してください。

【新規・更新協議の場合に必要な添付資料】

- 協議医療機関パンフレット
- 専門医療相談を行う組織の体制図
- (基幹型のみ) 二次救急・三次救急医療の体制図及び院内連携体制図
- (連携する医療機関がある場合) 連携する医療機関等の概要、位置関係及び連携に関する承諾書
- (認知症に係る経験が5年以上の医師を配置する場合) 医師の業務履歴
- (医療相談室に精神保健福祉士、保健師以外の者を配置する場合) 該当する者の業務履歴

ストラクチャ

身体合併症に対する救急医療機関としての要件の確認については、基幹型のストラクチャを評価することの一例となります。

プロセス

身体合併症に対する医療支援等の具体的な内容と実施状況の確認は、基幹型のプロセスを評価することの一つとなります。

ストラクチャ

空床確保の状況の確認は、基幹型のストラクチャを評価することの一つとなります。

プロセス

【地域連携推進機関としての要件と機能】の項目については、プロセスを評価する一例です。認知症疾患医療連携協議会の開催状況、研修会の開催状況、初期集中支援チームへの関与等についての確認は、各センターのプロセス評価の一つとなります。

プロセス

【医療サービス等提供状況】の項目については、プロセスを評価する一例です。

医療サービスの提供状況について、特に、身体合併症の医療、精神症状・行動障害への医療、地域連携推進に関する事業の実施状況についての確認は、各センターのプロセス評価の一つとなります。

ストラクチャ

医療機関の組織体制図や連携医療機関等の概要、医師の業務履歴などの添付資料はストラクチャを評価する一例です。

※赤字（注8～注17）は認知症疾患医療センター運営事業協議書（兼）実績報告書（医療機関別）のExcelファイル内「記入上の留意事項（項目解説）」をご参照ください。

都道府県・指定都市が認知症疾患医療センターの機能評価を行う上で、認知症疾患医療センターが連携する外部機関からの評価を得る方法もあります。地域での外部連携機関からの意見を抽出することで、その地域における認知症疾患医療センター運営事業の課題が明確になり、地域においてより効果的に機能するように認知症疾患医療センター運営事業の質を高めていくことにつながります。

以下に、平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査研究事業において行った、かかりつけ医による認知症疾患医療センターの外部評価アンケートを例として示します。アンケートの内容は認知症疾患医療センター運営事業実施要綱をもとに、周知の有無、初診までの待機時間、鑑別診断に関する検査体制、

かかりつけ医を対象とした認知症疾患医療センター機能評価アンケート

※本アンケートは、かかりつけ医ご本人にご回答いただきたく存じます。
※忌憚のないご意見をお願いいたします。

I. 本アンケートにお答えの方ご本人についてお答えください。

1) 貴医療機関の診療科をすべてお答えください。

01内科	02精神科	03神経科	04神経内科	05呼吸器科
06消化器科	07胃腸科	08循環器科	09小児科	10外科
11整形外科	12形成外科	13美容外科	14脳神経外科	
15呼吸器外科	16心臓血管外科	17小児外科	18皮膚泌尿器科	
19皮膚科	20泌尿器科	21性病科	22肛門科	23産婦人科
24産科	25婦人科	26眼科	27耳鼻咽喉科	28気管食道科
29放射線科	30麻酔科	31心療内科	32アレルギー科	
33リウマチ科	34リハビリテーション科	35その他（ ）		

2) 年齢と性別、医師歴（医師免許をとってからの年数）についてお答えください。

①年齢 歳 ②性別 1. 男性 2. 女性 ③医師歴 年

II. 認知症疾患医療センターについて

1) 認知症疾患医療センターをご存知ですか

① 知っている ② 知らなかった

2) 認知症疾患センターの役割は、認知症の相談支援、認知症の早期発見・鑑別診断、BPSDや身体合併症の急性期治療、かかりつけ医・介護関係者への研修等、医療・保健・介護の連携、情報発信ですが、この業務内容について、ご存じですか？

① 知っている ② 概ね知っている ③ 知らなかった

3) これまでに認知症疾患医療センターを利用したことがありますか。
（患者の紹介、問い合わせ、研修会や協議会への参加を含みます）

① ある ② ない

①ある → III. にお進みください。

②ない → 利用していない理由をご記入ください。

②ないとご回答の先生は、これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

回答者属性

III. これまでに認知症疾患医療センターを利用したこと

1) あなたがこれまでに利用した認知症疾患医療センター

以下の項目は上記の施設についてをお答えください。

2) 患者の初診までの待機時間について、適切だと思いますか？

① 適切だと思う ② 長すぎると思う
③ その他（ ）

3) 認知症の鑑別診断に関する検査の種類・検査体制について

① 適切だと思う ② 課題がある

鑑別診断に関する検査体制の課題について

4) 認知症の診断結果や情報提供について、適切だと思いますか？

① 適切だと思う ② 課題がある

5) 認知症の周辺症状（BPSD）などの緊急対応について

① 適切だと思う ② 課題がある

診断結果及び情報提供、認知症の周辺症状などへの緊急対応、認知症患者の身体合併症などへの緊急対応、相談応需・予約対応、啓発・研修の企画・実施体制、関係機関との連携、満足度について設問を設定しています。これらは事業のプロセス評価に相当します。詳細な結果は本事業報告書第3章をご参照ください。

本事業において地域の認知症疾患医療センターおよび医師会の協力のもとにすべての医師会員にアンケートを行ったところ、回収率は27.3%でした。有効回答であった医師の48.8%が認知症疾患医療センターの役割を理解していると回答し、25.4%がこれまで認知症疾患医療センターを利用したことがあると回答しました。特に受診までの待機時間、利便性、研修の機会に関する意見も得られ、認知症疾患医療センターの質の改善に資する有効な情報が得られました。

とのある先生にお伺いします。

センターで、一番頻度の高い施設名をご記入ください。

③該当がない

①適切だと思う ②課題があると思う ③該当がない

②-1 対応してくれない
②-2 対応まで時間がかかる
②-3 対応内容に問題がある
②-4 その他 ()
※複数回答可

身体合併症などの緊急対応に関する課題について

①適切だと思う ②課題があると思う ③該当がない

②-1 不親切だった
②-2 電話がかかりづらい
②-3 対応時間が短い
②-4 その他 ()
※複数回答可

相談応需・予約対応に関する課題について

①適切だと思う ②課題があると思う ③該当がない

②-1 通知・連絡等が不十分
②-2 時間設定の幅を広げてほしい
②-3 頻度を増やすべき
②-4 その他 ()
※複数回答可

啓発・研修の企画・実施に関する課題について

①適切だと思う ②課題があると思う ③該当がない

課題について具体的に書きください

関係機関との連携に関する課題について

①満足している ②どちらともいえない ③不満がある(具体的に) ()

10) 上記の項目を含め、全般的に認知症疾患医療センターの機能として満足していますか。

①満足している ②どちらともいえない ③不満がある(具体的に) ()

IV. あなたの地域の認知症疾患医療センターに、今後期待することはありますか。
ご自由にご意見をお書きください。

その他満足度や今後の期待について

ご協力有難うございました

認知症疾患医療センターの初診待機時間について

診断結果や情報提供に関する課題について

周辺症状などの緊急対応に関する課題について

以下に、平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査研究事業において行った、地域包括支援センター職員による認知症疾患医療センターの外部評価アンケートを例として示します。

本アンケートの内容は認知症疾患医療センター運営事業実施要綱をもとに、周知の有無、初診までの待機時間、認知症の周辺症状などへの緊急対応、認知症患者の身体合併症などへの緊急対応、相談応需・予約対応、啓発・研修の企画・実施体制、関係機関との連携、満足度について設問を設定しています。これらは事業のプロセス評価に相当します。詳細な結果は本事業報告書第4章をご参照ください。

地域包括支援センター職員を対象とした認知症疾患医療センター機能評価アンケート

※本アンケートは、地域包括支援センター職員様ご本人にご回答いただきたく存じます。
※忌憚のないご意見をお願いいたします。

I. 本アンケートにお答えの方ご本人についてお答えください。

1) あなたの地域包括支援センターでの担当職種をお答えください。※主な職種1つのみ

1. 保健師 2. 看護師 3. 社会福祉士 4. 主任介護支援専門員

2) 年齢と性別、職歴についてお答えください。

①年齢 歳 ②性別 1. 男性 2. 女性 ③職歴 年 ④地域包括支援センター所属年数 年

3) あなたの所属する地域包括支援センターの設置形態についてお答えください。

1. 直営 2. 委託

4) あなたの所属する地域包括支援センターは、基幹型地域包括支援センターですか。

1. はい 2. いいえ

II. 認知症疾患医療センターについて

1) 認知症疾患医療センターをご存知ですか

① 知っている ② 知らなかった

2) 認知症疾患医療センターの役割は、認知症の相談支援、認知症の早期発見・鑑別診断、BPSDや身体合併症の急性期治療、かかりつけ医・介護関係者への研修等、医療・保健・介護の連携、情報発信ですが、この業務内容について、ご存じですか？

① 知っている ② 概ね知っている ③ 知らなかった

3) これまでに認知症疾患医療センターを利用したことがありますか。
(患者の紹介、問い合わせ、研修会や協議会への参加を含みます)

① あり ② ない

IIIに進みます。

利用していない理由をご記入ください。

②ないと回答された方は、これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

III. これまでに認知症疾患医療センターを利用したことがありますか。

1) あなたがこれまでに利用した認知症疾患医療センターは、

以下の項目は上記の施設についてをお答えください。

2) 患者の初診までの待機時間について、適切かどうか

① 適切だと思う ② 長すぎると思う ③ その他 ()

3) 認知症の周辺症状 (BPSD) などの緊急対応について、適切かどうか

① 適切だと思う ② 課題がある

②- () ②- () ②- () ②- () ※複数回答可

4) 認知症患者の身体合併症などの緊急対応について、適切かどうか

① 適切だと思う ② 課題がある

②- () ②- () ②- () ②- () ※複数回答可

5) 認知症に関する相談応需、予約対応について、適切かどうか

① 適切だと思う ② 課題がある

②- () ②- () ②- () ②- () ※複数回答可

本事業において地域の認知症疾患医療センターおよび市区町村の協力のもとにアンケートを行ったところ、回収率は67.4%でした。有効回答であった地域包括支援センター職員の96.6%が認知症疾患医療センターの役割を理解していると回答し、68.3%がこれまで認知症疾患医療センターを利用したことがあると回答しました。特に受診までの待機時間、相談応需・予約対応、地域の関係機関との連携に関する意見が得られ、認知症疾患医療センターの質の改善に資する有効な情報が得られました。こういった自由記載の調査では、認知症疾患医療連携協議会では得られない個別の事例における連携の課題などの貴重な資料が得られることが明らかになりました。

とのある方にお伺いします。

センターで、一番頻度の高い施設名をご記入ください。

認知症疾患医療センターの初診待機時間について

ます。
でしたか。
と思う

③該当がない

について、適切でしたか。

と思う

③該当がない

① 対応してくれない
② 対応まで時間がかかる
③ 対応内容に問題がある
④ その他 ()
※複数回答可

啓発・研修の企画・実施に関する課題について

6) 認知症に関する啓発・研修の企画・実施体制に関して、適切でしたか。

① 適切だと思う ② 課題があると思う ③ 該当がない

②-1 通知・連絡等が不十分
②-2 時間設定の幅を広げてほしい
②-3 頻度を増やすべき
②-4 その他 ()
※複数回答可

7) 認知症疾患医療センターと関係機関との連携に関して、適切でしたか。

① 適切だと思う ② 課題があると思う ③ 該当がない

課題について具体的にお書きください

関係機関との連携に関する課題について

8) 上記の項目を含め、全般的に認知症疾患医療センターの機能として満足していますか。

① 満足している ② どちらともいえない
③ 不満がある(具体的に) ()

周辺症状などの緊急対応に関する課題について

身体合併症などの緊急対応に関する課題について

IV. あなたの地域の認知症疾患医療センターに、今後期待することはありますか。
ご自由にご意見をお書きください。

その他満足度や今後の期待について

ご協力有難うございました

、適切でしたか。
と思う

③該当がない

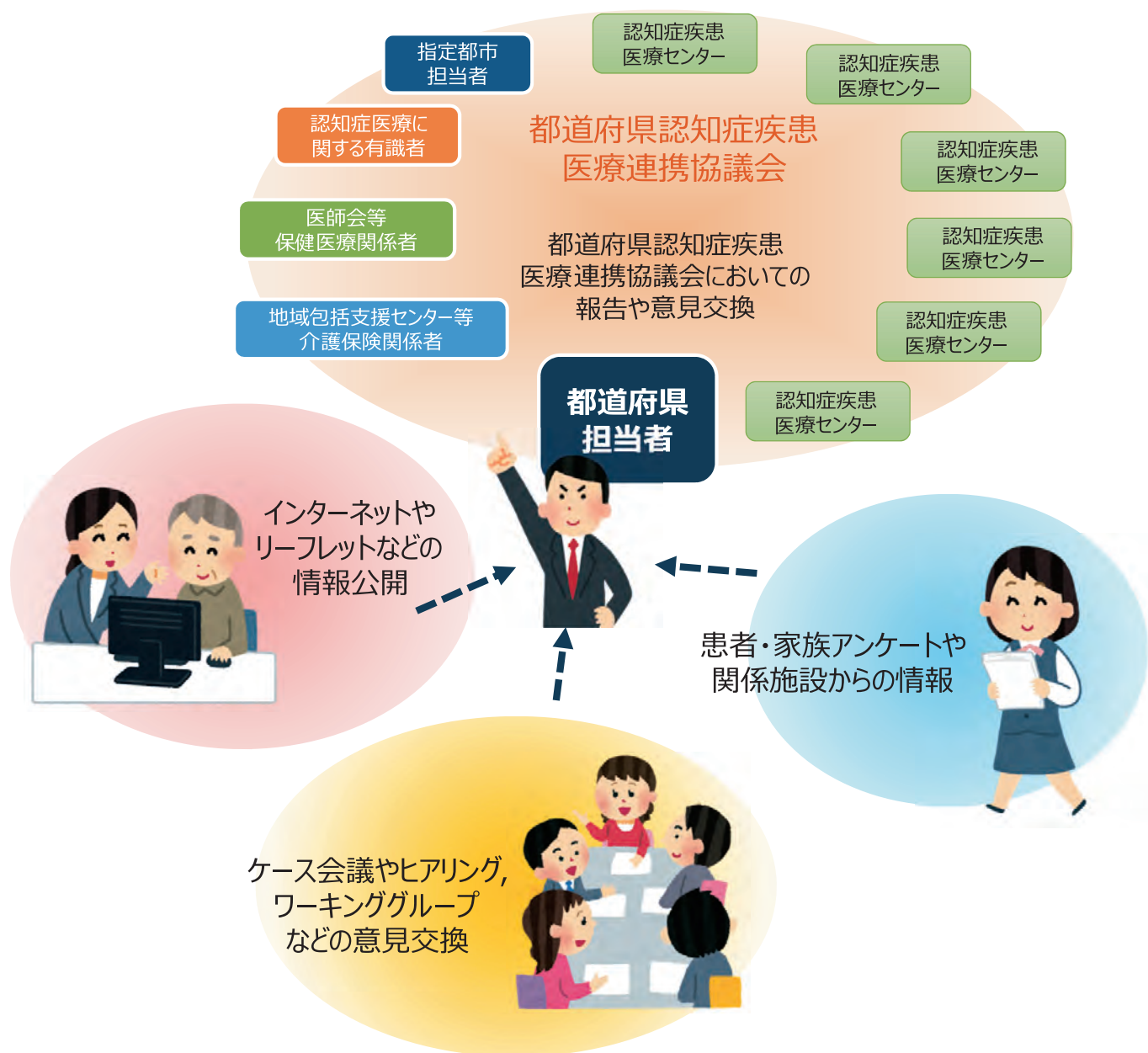
① 不親切だった
② 電話がかかりづらい
③ 対応時間が短い
④ その他 ()
※複数回答可

相談応需・予約対応に関する課題について

●さまざまな機能評価の例●

認知症疾患医療センターの機能評価を適切に行うには医療機関自身の評価に加え、都道府県認知症疾患医療連携協議会での事業報告ならびに意見交換や医療機関外からの評価も有効です。以下に全国の先進事例から、都道府県認知症疾患医療連携協議会の活用方法や医療機関外からの評価を活用している例を示します。

機能評価の方法の例



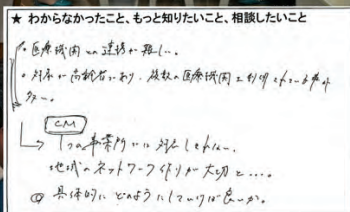
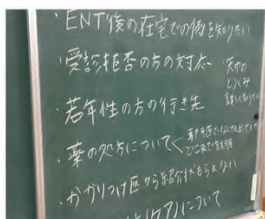
● 岩手県の事例

医療と介護の連絡会議でのヒアリング

岩手県基幹型認知症疾患医療センター(岩手医科大学附属病院)では、センターの設置された盛岡市の南側に隣接する矢巾町にて、平成26年度より年に3回、医療と介護の連絡会議(通称：サンドイッチの会)を矢巾町地域包括支援センターとの共催で開催している。

会には、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等の医療従事者、介護支援専門員、介護事業所スタッフ等の介護従事者、自治体の医療・介護・福祉担当者等が参加している。毎回、認知症に関する旬なテーマを取り上げているが、形式は講義ではなくグループワークを中心としている。高度で専門的な知識の習得そのものよりも、それぞれが素朴に感じる課題や工夫について情報交換し顔の見える連携を作ること重要視している。特に、介護従事者は医療に敷居の高さを感じている。この会は、平日夜間の開催にも関わらず多数の参加を得て継続している。事例検討や成功談、失敗談等の中から認知症疾患医療センターの関わるべき役割を抽出し、その役割に対する実際の貢献度をその場で評価してもらい、医療機関外からの評価として将来の方針決定に活用している。

今や地域医療、在宅介護、施設ケアを知らずに本当の認知症医療は成立しない。この会は、私たちにとっては、その実情を教えていただく大きな学びの機会となっている。その中から、認知症疾患医療センターの関わるべき役割を抽出し、医療機関外からの評価として将来の方針決定に活用している。



▲ グループワークの様子

この日は介護従事者の参加が多く、専門医への紹介、拒否例の受診勧奨、服薬管理等、医療に関する課題が多く挙げられた。

岩手県認知症疾患医療センター(岩手医科大学神経内科・老年科)・矢巾町地域包括支援センター 通信

認知症医療と介護の連絡会議 in 矢巾 第3回 サンドイッチの会 開催しました

年の精進12月8日、「ケアセンター南昌」にて、第3回の会を開催しました。平日・夜間に関わらず、医療・介護の専門職等、56名もの参加がありました。今回のテーマは、MCI(軽度認知障害)。レクチャー、事例の紹介があり、その後、認知症の早期発見・早期介入の課題について、グループワークを実施し、大いに盛り上がりしました。今回は初めての試みとして、会終了後の懇親会も実施しました。参加者の皆様、ありがとうございました!!

——はじめて知ったこと——

- ▲ MCIについて 32件
- ▲ MCIをはじめて知った、理解した、MCIとAD
- ▲ 早期発見・介入について 24件
- ▲ 重要性を理解した、生活習慣病の予防が
- ▲ 診断後にきちんとケアができるように整
- ▲ 連携について 18件
- ▲ 多職種連携の重要性を感じた、情報共有
- ▲ で行政・医療機関が連携を後押ししてほ
- ▲ ていきたい、服薬が重要
- ▲ スクリーニングについて 18件
- ▲ ニュースについての質問をはじめて知った、思
- ▲ ったと思った、活用したい
- ▲ うつとの鑑別と関連について 17件
- ▲ 区別を理解した、違いが難しいと思った、意
- ▲ ケアについて 16件
- ▲ 本人の気持ちに寄り添って対応することが
- ▲ バランスについて理解
- ▲ 家族について 6件
- ▲ 家族の対応の仕方の重要性がわかった、家

講義・事例検討
「MCI(軽度認知障害)を理解しよう」
岩手医科大学神経内科・老年科 医師 高橋純子

MCIは、認知症のような「もの忘れ」等が見られますが、生活への支障のない状態で、早期の気づきのポイントとなります。盛岡市では、「最近のニュース」は何ですか?という質問を用い

▲ 広報用の会のまとめ(一部)

毎回ワークの回答を「はじめて知ったこと」「もっと知りたいこと」としてKJ法で整理。町内の医療機関や介護事業所に広報として配布している。

● 東京都の事例

認知症対策推進会議医療部会の設置

都は、医療・介護関係者、認知症医療に関する有識者、家族会、行政等の外部委員16名で組織された会議体（部会長：首都大学東京 繁田 雅弘教授）を平成24年度に設置し、認知症疾患医療センターの専門医療機関としての機能、地域連携の推進機関としての機能、人材育成機関としての機能について、実績報告及び意見交換を実施している。（年2回程度開催）

会議は原則公開としており、会議資料、議事録は東京都のホームページ「とうきょう認知症ナビ（http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/zaishien/ninchishou_navi/）」において公表している。

<医療部会での主な意見>

- ・認知症疾患医療センター同士が情報交換を行い、運営に関する課題等について議論する場を継続的に設けることが有益であるとする。
- ・認知症疾患医療センターが地域の中に根差していき、かかりつけ医等地域の多職種と連携していくことが重要である。
- ・認知症疾患医療センターが開催する研修会等において、参加者が決まってしまう。今まで参加していない人たちをどうやって引き込んでいくか、考えていかなければならない。

また、認知症疾患医療センターの相談員を対象とした相談員連絡会や、拠点型センター情報交換会を開催し、都からの情報提供やセンター同士の意見交換を行ない、情報共有やセンターの質の向上に努めている。

▶ 平成28年度の認知症疾患医療センター関係会議（予定を含む）



名称	参加対象者	頻度
相談員連絡会	全センターの専従相談員	年4回
ブロック別情報交換会	全センターの構成員（医師、相談員、事務等）	年4回 * 全センターを4ブロックに分けて各1回ずつ開催
拠点型センター情報交換会	地域拠点型センターの構成員（医師、相談員、事務等）	年1回
全体会	全センターの構成員（医師、相談員、事務等）	年1回

● 広島県の事例

患者・介護者満足度調査

循環型認知症医療・介護連携システム推進事業において、患者・介護者満足度調査（診断の時期、診断と治療の説明、診断の受け入れ、治療・ケアに対する自分の希望の表明、自分の希望が尊重される確信、治療への満足度、介護サポートへの満足度）を初診時、半年後、1年後に実施。入院・入所、退院・退所、死亡などの状況も1年後まで追跡調査。患者属性（婚姻・生活・仕事状況、相談理由、障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度）、受診前診断名、相談から初診まで・初診から診断までの期間、MMSE、GDS、ADL、IADL、CDR、NPI（12項目の項目ごと）、Zarit介護尺度、CES-D、診断結果、治療・介護に関わる連携機関、地域連携パス発行の有無、センターの情報入手先、介護者の状況、徘徊の有無・状況、身体制限の有無・状況、介護保険の状況、利用のサービスなども調査している。

また、年度ごとに活動報告を県に提出している。統計の取り方・内容については、認知症疾患医療連携全体協議会（以下、協議会という）で協議し決定した。実績報告の項目は、専門医療相談件数

（月別）（電話・面接）、主な相談者の区分、相談内容、認知症疾患に係る外来件数（月別）及び鑑別診断件数（月別）、入院件数（月別）（当院・他院）、新規受診者の年齢別分布・地域別分布・紹介元の区分・受診後の対応・鑑別診断名・認知症重症度（CDR）、入院理由、退院件数、退院者の在院期間、退院先等の状況、研修会の開催状況、協議会開催状況、認知症医療に関する情報発信、認知症初期集中支援チームの対応件数、訪問件数、チーム会議開催数、認知症地域連携パス発行件数などである。



＜参考資料＞

（当日）患者様用 / 介護者様用

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター 満足度調査

この調査は、当センターについての患者様満足度を知るためのものです。ご回答いただいた情報は調査の目的以外で使用することはありません。また、ご回答いただいた内容によって患者様やご家族様が不利益をこうむることは一切ありません。恐れ入りますが、ご協力お願い致します。

当ではまるものところの数字に○をつけてください。

1) 認知症の診断を受けた時期は適切でしたか？

1. 早すぎる 2. やや早すぎる 3. 適切 4. やや遅い 5. 遅すぎる

2) 認知症とそれに対する治療についての説明には満足していますか？

1. 大変満足している 2. やや満足している 3. 普通 4. やや不満足である 5. 大変不満足である

3) 認知症の診断を受け入れられますか？

1. 受け入れられる 2. どうか受け入れられる 3. 受け入れがたい 4. 全く受け入れられない 5. 分からない

4) 今後の治療・ケアについて、自分の希望を表明できていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. 分からない

5) 自分の希望が尊重されると確信していますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. 分からない

6) 認知症に対する治療には満足していますか？

1. 大変満足している 2. やや満足している 3. 普通 4. やや不満足である 5. 大変不満足である

7) 日常生活において受けている介護サポートに満足していますか？

1. 大変満足している 2. やや満足している 3. 普通 4. やや不満足である 5. 大変不満足である

ご協力ありがとうございました。

この用紙は会計時、受付にお渡しください。

センター相談係 半年後 / 1年後
番号 _____

▲患者・介護者満足度調査

● 熊本県の事例

熊本県認知症疾患医療センターの機能評価

熊本県では、認知症疾患医療センターの事業の質を管理する手段として人材育成と情報共有の仕組みを確立しており、2ヶ月に一度、全センターの事例検討会を実施し各認知症疾患医療センターの医師、コメディカルスタッフ、地域包括支援センタースタッフ、認知症コールセンタースタッフ、県の担当者が必ず出席し職種間を超えた活発な意見交換を行っている。また、基幹型センターが中心となり、かかりつけ医や認知症サポート医、看護師やその他の専門職への人材育成について様々な研修を行っている。（図）

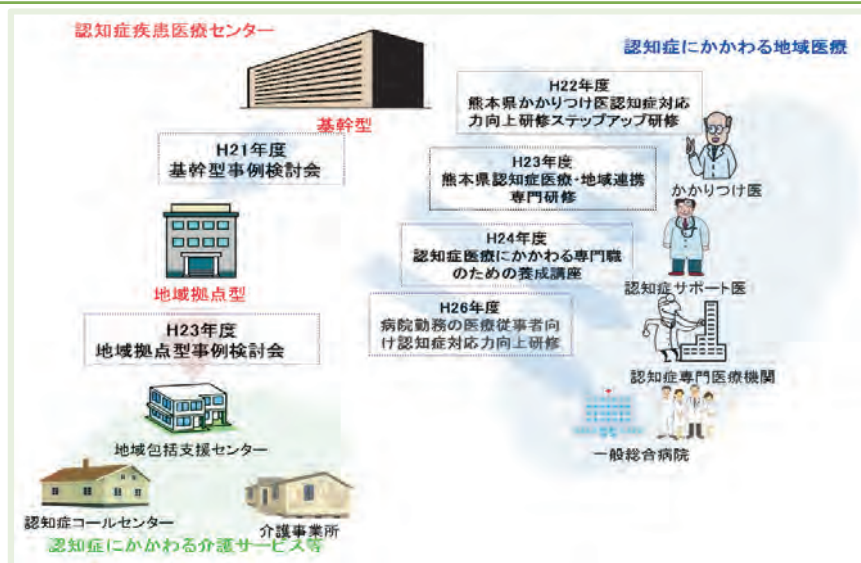
機能評価については、事例検討会開始前の1時間を利用して熊本県および熊本市の行政担当者と全センターの連携担当者が一堂に会し、相互に相談件数や診察件数、入院件数等をチェックし、各センターから行政や他のセンターへの要望も受け付ける連携担当者会議を開催している（年4回程度）。連携担当者会議は、各センターの現状把握および行政側の認知症施策の方向性と現場の意見をすり合わせることができる貴重な時間である。また、外部評価機能として、熊本県認知症疾患医療連携協議会においても、毎年度末に臨床成績を公開し、評価を受けるとともに次年度の目標設定にアドバイスをもらっている。協議会は各団体の代表者および有識者で構成されているが、県内の全てのセンターの担当者もオブザーバーとして出席している。厚生労働省への報告とは別に、開設当初より各年度に報告書を作成し、県内の関連諸機関に配布し各種活動状況を公開している。また、県と基幹型センターは、必要に応じて地域型センターや診療所型センターを訪問し、事業評価やヒアリングを定期的実施し、その都度アドバイスや他センターの情報を提供している。



▲ 連携担当者会議



▲ 熊本県認知症疾患医療連携協議会



▲ 人材育成（熊本モデル）

謝 辞

本冊子は、(1)平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）において設置された「認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査委員会」の討議、(2)同事業において実施された全国の認知症疾患医療センターおよび都道府県・指定都市の担当者、北海道，東京都，滋賀県，愛媛県の一部地域の医師会登録医療機関および地域包括支援センターを対象とする郵送調査の結果、(3)岩手県，東京都，広島県，熊本県の委員による先進的な取り組み事例の報告に基づいて作成されています。

多大なご協力をいただきました調査委員会の委員各位，全国の認知症疾患医療センターおよび都道府県・指定都市の担当者，医師会登録医療機関および地域包括支援センターの担当者に深く御礼申し上げます。また，本研究事業の遂行を支援していただきました厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室の皆さまに感謝申し上げます。

尚，調査委員会における討議の概要および郵送調査の結果については事業報告書をご参照ください。事業報告書は以下のURLより入手することができます。

http://www.tmg Hig.jp/J_TMIG/rojinkenkouzoushin/

認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査委員会

委員長 栗 田 主 一

平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

「認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査研究事業」

研究班

- 栗田 圭一 （東京都健康長寿医療センター研究所）
- 瀧野 勝弘 （公益社団法人日本精神科病院協会常務理事）
- 内海 久美子 （砂川市立病院認知症疾患医療センター）
- 池田 学 （大阪大学大学院医学系研究科・情報統合医学講座・精神医学分野）
- 藤本 直規 （医療法人社団藤本クリニック）
- 新田 國夫 （医療法人社団つくし会 新田クリニック）
- 北村 立 （石川県立高松病院）
- 武田 章敬 （国立長寿医療研究センター病院 在宅医療・地域連携診療部）
- 中西 亜紀 （大阪市福祉局高齢者施策部医務主幹
大阪市福祉局弘済院附属病院神経内科 認知症疾患医療センター）
- 谷向 知 （愛媛大学医学部附属病院認知症疾患医療センター）
- 寺山 靖夫 （岩手医科大学附属病院認知症疾患医療センター）
- 井門ゆかり （広島県西部認知症疾患医療センター）
- 小林 直人 （あずま通りクリニック）
- 柏木 一恵 （浅香山病院）
- 上野 睦子 （東京都福祉保健局高齢社会対策部認知症対策担当）

【作業部会】

- 枝広 あや子 （東京都健康長寿医療センター研究所）
- 杉山 美香 （東京都健康長寿医療センター研究所）
- 野本 恵美 （東京都健康長寿医療センター研究所）
- 大口 達也 （高崎保健福祉大学健康福祉学部）

都道府県・指定都市の認知症疾患医療センター機能評価に向けて
平成28年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)
「認知症疾患医療センターの機能評価に関する調査研究事業」研究班

発行・編集： 研究部長 栗田 主一

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム
〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

発行日： 平成29年3月31日

